

学校運営協議会 議事録

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
校長名	郡司 弘子

開催日時	令和3年7月8日(木) 10:00 ~ 11:30
開催場所	オンライン開催
出席者(委員)	委員長、副委員長、委員3名
出席者(学校)	校長、教頭2名、事務部長、課長補佐、首席4名、部主事3名、教務部長1名、
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度 第1回 府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 次第 (資料1) ・ 令和3年度 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 委員名簿 (資料2) ・ 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 実施要項 (資料3) ・ 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について (資料4) ・ 令和3年度 学校要覧 大阪南視覚支援学校 (資料5)
備考	

議題等(次第順)
<p>【協議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 実施要項について(教頭) (2) 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について(校長) (3) 令和3年度 学校概況について(校長) <p>【報告題】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 使用教科書の採択について(教務主任) (2) 1学期の教育活動について(各部主事)
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>【協議題】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 実施要項について(教頭) 意見、質問：特になし (2) 令和3年度 学校概況について(校長) (3) 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について(校長) <p>※(2)(3)あわせて報告</p> <p><学校概況について(学校要覧より)></p> <p>学級数、生徒数、新入生について、全校31学級、83名で昨年度から4名増加している。昨年は28学級、79名。全国の盲学校在籍者は2386人。全国で点字教科書を使う在籍者は減少傾向であり、重複障がい生徒が増加している。寄宿舎は通学時間が60分以上を入舎基準としている。今年度は合計で15名入舎。教職員の人数は、計128名。学習支援員、スクールサポートスタッフは校内の消毒や給食、授業の補助をしている。通学バス路線は、北コースと南コースがあり、8人ずつ使用している。視覚障がい状況について、点字教科書使用者は合計17名。卒業生の進路状況について、その他</p>

7名は進路が未定。

委員：その他7名については、資格取得を待って、就職ということか。

事務局員：国家試験に合格できなかったものが2名おり、補習の学習支援を行っている。他の者は開業準備をしている。パートなどをふくめてほぼ全員就職している。

委員：新規入学者を含めて、住吉区から登校する子はいるのか。

教頭：住吉区から幼稚部は0人、小学部2名、中学部1名、高等部3名、専修部は学校近辺にたくさん住んでいる。

校長：学校近くの音響信号の設置について警察署にお願いを出す予定。自治会にもご協力をお願いしている。

委員：ぜひ地域として協力したい。

<学校経営計画及び学校評価について>

今年度、教職員に向けて、学校運営について伝えたこと4点。子どものために最善をつくすということをお大前提にする。

(1) アットホームであたたかみのある学校作り、保護者の理解、何に困っているか思いやること

(2) 教育的ニーズに応じられる、高い専門性をもつこと。教員も自己実現できる働き甲斐のある学校。

(3) 伝統を守りつつ、時代の変化に合わせられる教育。不易と流行。子供たちの障がい状況に応じた教育ができるしなやかな組織。

(4) 風通しのよい組織、すばやい情報共有。

学校経営計画及び学校評価(資料4)

1 めざす学校像

2 中期的目標

3 本年度の取り組み内容及び自己評価

委員：支援体制の充実について、子どもが小学3年生で地域の小学校に在籍していたとき、拡大教科書の存在を教えてもらえず保護者がコピーやワードで拡大をしていた。6年生で支援学級に在籍して、担任の先生に拡大教科書の存在を教えてもらった。もっと早く教えてほしかったし、2度とそういうことがないようにしてほしい。市教委にもお願いをした。盲学校は全盲のイメージがあるが、弱視生徒も通えることを広めてほしい。視覚障がいに対する支援やツールがあることを広めてほしい。市役所で拡大教科書について見本がないと言われた。高等部に入って、ある保護者から使わなくなった教科書を、市役所に寄付したと聞いた。ただし、寄付の手続きはややこしいが、市役所に見本があれば、拡大教科書のハードルが下がるのではないかと。

事務局員：地域の学校から依頼があつて、拡大教科書の使用についても相談を受けている。保護者から直接、支援室に連絡をいただいて、拡大教科書のポイント数などについてアセスメントすることもある。本校とのつながりという点で、理解啓発が必要。

委員長：全ての学校の管理職の先生が拡大教科書について知っておくことが重要。

校長：府の教育センターでの校長研修で支援教育についても研修を行っている。地域支援整備事業で保護者からの相談にのっているが、すみずみまでいき届いていないのが現状。本校では市町村の指導主事に研修を行って理解啓発を行っている。

事務局員：毎学期、弱視学級のある学校や本校とつながりがあった学校には教育相談の案内をしている。

委員：中学から本校に入学したが、拡大教科書や拡大読書器を知らない保護者もいた。地域では家庭科や体育で、見学になったこともあった。本校の存在を早く知っていれば、いじめやつらいめに合わずに楽しい学校生活を送れたかもしれないと自分を責める保護者もいた。ぜひ地域に本校を広めてほしい。

委員：令和2年度は元年と比べて、地域の支援学級が増えて、弱視学級も増えている。地域支援が大事になってきている。ICTの活用は非常に有効であるだろう。支援学級の先生方では小さい組織なので高い専門性が難しい。本校の専門性を伝える情報発信を行うことがとても重要になってくる。

校長：地域の弱視学級の生徒が多く、本校とつながっていない生徒もいる。支援が必要なところに必要な支援が行き届くよう情報が発信していきたい。

事務局員：各市町村で視覚障がいの研修講師を務めたり、本校に弱視学級の先生方が来ていただいて視覚教育サポート説明会などを行っている。

【報告題】

(1) 使用教科書の採択について（教務主任）

<使用教科書の採択について>

来年度の教科書について、各学部で教科書を選んでいる。来年は高等部が新しい教科書に変わることになっている。本来3つの教科書から選定するが、点字教科書が1社のみのため、その1社を選ぶようになっている。

<点字教科書、拡大教科書について>

拡大教科書は分冊になり数が多くなる。1冊の教科書が拡大教科書では3冊～5冊、点字教科書では7冊～10冊となる。点字や拡大教科書は費用が高いため、注文時は府からも厳しいチェックを受け、ポイント数も間違えないように発注している。

また、電子教科書として iPad の中に UD ブラウザのアプリをいれ、そこに教科書データを入れ、
使

用することもできる。このほうが持ち運びしやすい。

委員長：現在、視覚障がいのある大学生にデータを送ることで、晴眼者と同じように授業を受けることができる。これは、ポラリス（約60万円）という機械を使って自分で点訳することや、データを音声で読み上げて活用することができるからである。

(2) 1学期の教育活動について（各部主事）

● 幼小学部主事

今年度は幼稚部7人、小学部11人。緊急事態宣言が解除され、校外学習や交流保育、居住地校交

流を行うことができるようになっている。外にできる活動が増えると、緊張することもあるが、成長もみられる。ホームページに学校の様子を保護者に向けて掲載している。

●中学部 主事

今年度生徒が7人増え、合計13人。緊急事態宣言が明け、部活を再開している。パラスポーツを生徒たちが経験して、発散の場になっている。スポフェスができて、すごく楽しかったという意見があった。修学旅行は九州から淡路島に変更した。沖縄盲とオンライン授業を開始している。いろいろ活動を再開して充実した中学部生活になってきている。

●高等部 主事

14名在籍、6名が準ずる教育課程で学んでいる。2・3年生は来週、修学旅行を予定している。4月の遠足は延期になって、久しぶりの校外での学習になる。緊急事態宣言中は施設での実習ができなかったが、夏休みの間に複数の実習を行う生徒もいる。

●専修部 主事

昨年11名卒業、今年13名入学。志願者数増加に向けて、パンフレットや学校見学会、オープンスクールの案内の送付、電話の啓発活動をしている。オープンスクールの様子をYouTubeで配信予定。続けてデイケア施設や老人ホームで機能訓練士として働いている卒業生の動画アップの予定。

教員が他の教員の授業を見学して意見交流会を実施し、互いに高めあうことができた。教員の人権研修として取り組んでいる。点字記念日に点字、埴保己一検校、世界で活躍する視覚障がい者についてとして3年間で3つの講和を続けている。PTA共催の進路研修会を卒業生を2名呼んで行う。

困っていることとしては、本校の卒業生はこれまで延べ200人実習してから、卒業していったが、緊急事態宣言中及び蔓延防止期間も校内で外来患者に対する実習ができず、教員等に患者になってもらっている。

次回の会議日程

日時	令和3年 11月 上旬（予定）
場所	大阪府立大阪南視覚支援学校 会議室